

8月の定例・平日作業はなし、夏休みとします。

8月避暑流しソーメンの会、8月24日(日)11時から12時半グリーントリム公園

準備は当日9時からします(テント張り、竹設定、炊事準備など)ので、ご協力を。
(竹刈りは前日夕刻有志数人で行います)
会員とその家族で楽しみましょう。涼しい木陰でおこないます。雨天は中止。

1. 7月の定例作業は、支障木伐採(子ども会準備)と三角山の草木下刈り

7/13(土)定例作業日は晴天。気温28度、参加者8名。ラジオ体操は入口広場で木々の陰の下になり、快適です。

2グループに分かれて作業開始。1つは、ヒノキの小口径支障木伐採グループ。これは7/20(土)のふれあい子ども会で担当するコースター作りの材料を準備するためです。



小径の支障木選定



懸かり木になる



伐採木

ヒノキ林(第1広場と第2広場の中間の斜面)に行き、前日橋本会長が見当付けていた小径の支障木(赤いビニールテープが巻いてある)をチェーンソーで伐採しました。ヒノキが密集しているので、懸かり木になりましたがロープを使って伐採木を落としました。根元切り口はどれも約20cm。

もう1つのグループは三角山(根がらみ坂公園)の草木の下刈り・伐採。周囲3辺を通る自動車が互いに見通せなくて危険だという声が町内にあるためです。刈払機・鎌・長柄鎌・剪定ばさみなどを使って、道路3辺から見通せるようにしました。

休憩時間に、美原里山保存会の写真が何枚も載っている“緑の募金実績報告書”の回覧、羽村市福祉センターでの月4-6時間のアルバイト求人紹介がありました。

休憩後は、全員で三角山の下刈り・剪定した木枝草の片づけをしました。



三角山の草刈り剪定

2. 美原ふれあい子ども会に、子どもたちが沢山集まりました

美原町内会等の主催の美原ふれあい子ども会が7/20（土）1時～3時半まで、グリーントリム公園で行われました。美原里山保存会も主催に加わり、テントを1つ受け持って、「コースター作り」をしました。

保存会からは9名手伝いがありました。（その他、ふれあいの会や長寿会の方で加勢した会員もいました。）

はじめ直径約20cmの丸太を試し切りしたところ、子どもらがのこぎりで切るのは無理だと判断し、直径約12cmの細い幹を切ることになりました。これで十分コースターになります。挑戦した子ども達はのこぎりに夢中になって汗していました。それだけに切り終わったときには皆笑顔になります。周りの木の皮剥ぎは難しいのでおじさんたちに削り取ってもらいました。

皮剥ぎは、金属のへら型のノミで大まかに済ませ、小作四郎さんが持ってきた電動のペーパーヤスリで仕上げました。

町内会の人から、「美原にはこんないい緑地があって大勢が集まれるのはすばらしい」との話がでていました。



ふれあい子ども会



コースター作り

3. 7月平日作業は、8月の流しそうめん企画の相談、ソーメン流し台座製作など

7/23（火）梅雨明けの夏日です。参加者6名。木陰のベンチで、8月の流しソーメン企画について話し合いました。ソーメン流し台の位置や準備段取りを話し合い、里山通信8月号といっしょに会員への案内状・申込書を配布することにしました。それから、ソーメン流しの竹を支える台座作りなどをしました。

蚊は草食昆虫だが、産卵のために吸血昆虫になる 多くの生物の食料になっている

世界には、3500種類以上の蚊がいますが、血を吸うのは、ハマダラカ、シマカ、イエカの3種類が主で、しかも交尾後のメスの蚊だけです。卵を育てるための吸血です。蚊の主食は花の蜜や草の汁です。

蚊は、卵→ボウフラ（幼虫）→オニボウフラ（さなぎ）→成虫へと完全変態します。卵から成虫になるまで水中で10日から15日（4回脱皮）、成虫は15日から1ヶ月の寿命です。妊娠したメスは動物の血を求めて飛び回り、吸血のたびに産卵します。その産卵は一生のうち4、5回です。蚊は寒さに弱く、卵で越冬します。成虫は大方死にますが、若い成虫は、洞窟や建物の陰、人家の押入れ・下駄箱でひっそりと餌もとらずに越冬するものもいます。

ボウフラの食料は水中プランクトンや生き物の死骸や糞です。水のお掃除人です。また、ボウフラはヤゴ、ミズカマキリなどの水生肉食昆虫や、メダカ、金魚やフナなどの小型魚類の重要な蛋白源になります。

成虫にも多くの天敵がいます。肉食昆虫のトンボ、カマキリ、クモ、アブ、ゴキブリ、アリ、キリギリス、オサムシ、ゴミムシ、コオロギ、ハサミムシなど。節足動物クモ、ムカデ、ヤスデ、サソリなど。甲殻類では、ザリガニやサワガニ。両生類ではカナヘビ、トカゲ、ヤモリ、イモリ、カメレオン、カエル、ヘビの子どもなど。食虫植物ではウツボカズラなど。

多くの生き物の食料になっています。しかし、人間には嫌われる。蚊の駆除には、週に1度、水たまりをなくせばよい。蚊の卵から成虫の期間は12～18日だから。罎（おとり）の水溜め箱を庭に置いて、1週間ごとに陽に焼けた道路に水をぶちやける方法もあります。

